

# 図書館だより

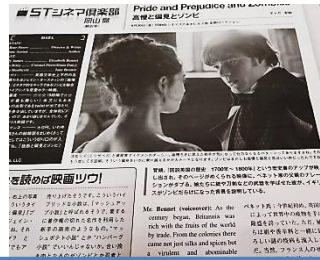
## 英語で読書しよう！

英語は常に私たちの身近にある時代になりました。みなさんも授業中に限らず、英語を使うべき場面が多々あることでしょう。しかし、「英語が苦手」と感じている人もたくさんいます。 「文法がわからない」、「発音が下手」という理由だとしたら、まずは日本人向けの英字新聞や簡単な英語の本を読んでみましょう。最近では、英語と和訳が同時に書かれている書籍が大変多いのです。また、単語の意味や言い回しが少しくらいわからなくても、高校生レベルの英語力があれば、おおよそが理解できるはずです。

英語に親しむ一番の近道は、「好きになること」なのです。外国の映画や音楽に興味がある人は英語で鑑賞したいと思うところから、海外旅行をしたい人は旅先で必要な英単語に触れてみるころから始めてみましょう。

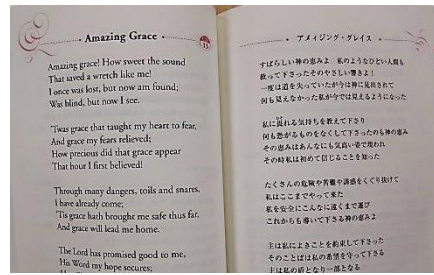
オススメ!

図書館にもたくさんの英語があふれています!

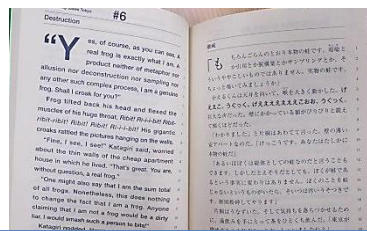


英字新聞『ST』は毎週土曜日に刊行。日本のニュースを英語で書いているので、身近な情報と英語表現を結びつけながら読むことができます。他にも世界のニュースやエンタメ、簡単な英語クイズなどもあります。

←カーブのリーグ優勝の記事。一面のタイトル、読みやすい英語ですね。英語豆知識もたくさんです。



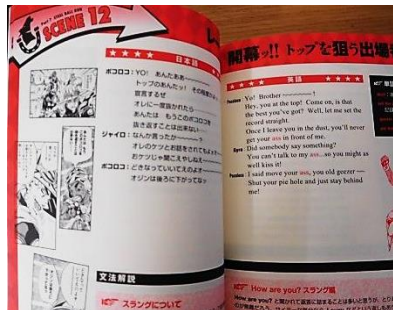
↑外国の詩は日本の詩とひと味違います。みなさんが知る『アメイジング・グレイス』も詩です。



↑小説です。中を開くと、左側に英字、右側に和訳があります。これならわからない表現も確認しながらスラスラ読むことができます。



←ご存じ『魔法宅』マンガなので辞書いらずで読めます。→変わりダネですが、わりとちゃんとした文法解説が。



新しい本が入りました! ※他にもありますので見に来てください。

『好きでいて』

カフカ：著 セブン&アイ出版

Twitterで人気のカフカさんの「自分を好きになる」言葉集第2弾。ページを開くたびに心がふわっと軽くなります。言葉がお守りになります。



『新しい地図のを見つけ方』

宇野常寛×吉田直記：著 KADOKAWA

批評家・宇野常寛とニッポン放送アナウンサー・吉田尚記が語り合う、新しい世界へ踏み出す13のガイドライン。



『ぼくのおじさん』

北杜夫：著 新潮社

小遣いはくれないし、宿題も見えてくれない、運動神経なし、でもマンガは大好き。ぼくのおじさんは自慢できるところが何一つない。やることなすこと全部的外れ。映画化されたおもしろストーリー。



『プリンス・チャームングと呼ばれた王子たち』

有川浩：著 講談社

シンデレラ、白雪姫、ラプンツェル、眠り姫。女の子の憧れる4人の王子。実はダメ王子。4人は“プリンス同盟”を結成し、姫と仲間と国のために魔女との戦いに挑む。笑いあり、涙ありの全く新しい物語が誕生。



## 11月の図書館予定

通常開館の時間 9:00~17:00

(変更になる場合もありますので、図書館前の掲示板を確認してください。)

月	火	水	木	金
	1 通常開館	2 休館	3 祝日(文化の日) 休館	4 通常開館
7 通常開館	8 休館	9 休館	10 休館	11 通常開館
14 通常開館	15 通常開館	16 通常開館	17 通常開館	18 休館
21 振休(11/19) 休館	22 通常開館	23 祝日(勤労感謝の日) 休館	24 通常開館	25 通常開館
28 通常開館	29 休館	30 休館		